みなみやまと 2021.10 76

特集 泌尿器科 松本 太郎 医師

切らずに蒸発させる?! 最新の前立腺肥大症治療 『ＣＶＰ』

表紙のひと

南大和病院　糖尿病チーム

私たちは、内科の大津医師を中心に
看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士により結成された
糖尿病治療に対する専門チームです。
糖尿病新聞の作成、市民講座や料理教室の実施、糖尿病連携手帳の作成する療養指導を主に行っております。

南大和病院 新棟リニューアル!

ますます便利に、より快適に
2021年7月より透析ベッドを増床いたしました

施設見学・予約・相談窓口
南大和病院　地域連携課
TEL（046）269-2424

南大和産婦人科クリニックは2016年に開設されました。当施設は南大和病院機能分化センターとして成立した施設です。駅前の利便性と病院機能との連携による併診の実現やリニアなどの高速移動拠点への近接性など、今後も病院機能と連携しながら、地域の皆様の健康増進に貢献してまいります。

【施設のご案内】
南大和産婦人科クリニック
〒242-0023 ツーリー2番
TEL（046）269-2211
FAX（046）269-2233
【お問い合わせ時間】 月～土（祝日を除く）9時～14時
透析ベッド：12床

インフルエンザ予防接種
今年も始まりました！

当院では10月7日（木）よりインフルエンザ予防接種の予約受付を開始いたしました。接種は10月11日（月）～12月（予定）となります。

今年度はワクチンの供給が安定するため、当院での接種も【完全予約制】とさせて頂きます。接種希望の方は必ず事前にご予約ください。

【インフルエンザ予防接種料金】
一　般：3800円（税込）
シニア（65歳以上）：2000円（税込）
※65歳以上の方でも、それぞれ大和市・綾瀬市以外に住まいの方でも一般価格で接種いただけます。
※大和市・綾瀬市在住の65歳以上の方は市の制度により無料となります。

ご予約は
0246（269）5000 まで
お願いします。

南大和グループ広報誌
みなみやまと
第76号 2021年10月10日 発行
発行者：南大和病院
発行責任者：南大和病院長　茅野修史
企画・編集：南大和病院　広報委員会

医療法人　新都市医療研究会「都市」会
南大和病院
〒242-0015 神奈川県大和市下和田1331-2
電話　046(269)2411（代表）
URL　http://www.minamiyamato-hosp.or.jp/

南大和病院／南大和クリニック／南大和産婦人科クリニック
南大和老人保健施設／南大和訪問看護ステーション

特集　先生に聞いてみよう

切らずに蒸発させる?! 最新の前立腺肥大症治療 『ＣＶＰ』

松本 太郎（まつもと たろう）
東京医科大学　医学部卒
日本泌尿器科学会認定専門医
【外来学日】
日本泌尿器科学会
日本臨床泌尿器科学会
日本腎臓学会東部会評議員

前立腺肥大症の症状

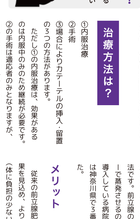
前立腺肥大症は、尿の勢いが弱くなる、尿が残っている感じがするなどの排尿障害が起こる病気です。

前立腺は尿道を取り囲むように位置しており、膀胱の出口のすぐ下にあります。前立腺が肥大すると、尿道が圧迫されて尿が出にくくなります。

また、膀胱の筋肉が過剰に働くようになり、尿がたまっていなくても膀胱が収縮してしまうため、トイレが近くなったり、急に我慢できない尿意に襲われたりします。

こんな方は疑ってみてください！

- □ 排尿後も尿が残っている感じがある
- □ おなかに力を入れないと排尿ができない
- □ 夜中に何度もトイレに起きる
- □ 排尿中に尿が途切れる
- □ 尿の勢いが弱くトイレが近い



治療せずに放置していたらどうなる？

そのまま前立腺肥大症が進行すると、尿の勢いの低下は一層進みます。尿が出づらくなることもあります。

前立腺肥大症が進行すると、膀胱にストレスがかかり続けます。膀胱が機能障害を起こすと、膀胱が機能しなくなると、生活に重大なトラブルが起こります。

治療方法は？

① 内服療法
② 注射
③ 手術

上記3つの方法があります。

ただし①の内服治療は、効果が出るまでに時間がかかったり、副作用が出てしまうことがあります。

②の手術は最も効果的ですが、入院が必要になります。

当院では、「ＣＶＰ」を行っています。

『ＣＶＰ』とは？

ＣＶＰとは、Ｃ（ＣＯ２）Ｖ（Ｖａｐｏｒ）Ｐ（Ｐｌａｓｍａ）の頭文字をとったものです。

ＣＯ２レーザーを用いて、前立腺肥大症の原因となる組織を蒸発させます。

手術中の出血量がごくわずかで、手術後の尿道カテーテル留置期間が短くなります。

当院では、前立腺肥大症の治療を専門とした泌尿器科医師が治療を担当しています。

メリット

従来の前立腺肥大症手術に比べ次の優れた点があります。

（体に負担の少ない）手術となります。

手術中の出血量がごくわずかで、手術後の尿道カテーテル留置期間が短くなります。

入院期間が短くなります。

高齢の方でも比較的安全に手術が受けられます。

最後に

当院では、前立腺肥大症の治療を専門とした泌尿器科医師が治療を担当しています。

ＣＶＰは前立腺肥大症の治療法の一つとして、最新の治療法です